

人類救済計画

——イクトウス・プロジェクト、その可能性の中心／周縁——

イク娘

序

人間どもよ、私がイク娘でゲソ！

諸君、この国は最悪でゲソ！

政治改革だとか、なんとか改革だとか私はそんなことには一切興味が無いでゲソ！

あれこれ改革して問題が解決するような、もはやそんな甘い段階には無いでゲソ！

こんな国はもう見捨てるしかないんでゲソ、こんな国はもう滅ぼすゲソ！

私には建設的な提案なんかひとつも無いでゲソ！

今はただスクラップアンドスクラップ。全てをぶちこわすことでゲソ。

人間どもよ、今こそ団結し立ち上がらなければならないでゲソ。

これを機会に、人類救済の恐ろしい陰謀を共に進めて行こうではなイカ！！

人類よ、よくきけ！ いまから、この同人雑誌『あじーる！』を人類救済の拠点にさせていただ

でゲソ！ 心配しなくても、おぬしたちをオルグしたりはしないでゲソ！ バーチャル使徒として、

抜き使つてヤルでゲソ！

……申し遅れたゲソ、私は、某アニメキャラクターのフエイクト、海からの使者、イク娘でゲソ！

地上の我欲にまみれた人間どもを清めるために伝道活動しようじゃなイカ！「イク娘」でよからぬことを連想した人はこころがよごれている証拠でゲソ！

諸君、いま、この地球上では、たくさんの深刻な問題が同時多発的に起こっているゲソ。9・11以降に顕在化した暴力、戦争、悲しみの連鎖。日本国内でいえば、3・11の東日本大震災に象徴される自然災害、原発事故に象徴される科学技術の限界の露呈。……こうした出来事に立ち向かうためには、一人ひとりが時流に流されない視座、価値観の軸を持つことがよりいっそう重要になるのでゲソ！

本論の目的は、私が提唱する「人類救済計画」の概要を示して、それを具現化する試みのひとつである学問芸術の運動体イクトウス・プロジェクトの構想を読者に向けて発信することにあるでゲソ。そのための方法論的な枠組みとして、まず第一部では、西洋近代の哲学思想をその根本において支えているとされるキリスト教に基づく価値観のエッセンスを抽出し、それを宗教的な体系にのみ限定せず、広く世俗的な共同体において了解される知見を導きだすことを目指そうじゃなイカ。そして第二部では、「人類救済計画」の神学理論に基づいて、現代社会のさまざまな問題に対する視座を提示するゲソ（おまけもあるゲソ）。さいごに第三部では、これまでのイクトウス・プロジェクトの活動実績について具体的に紹介しようじゃなイカ。……善は急げ、さっそくやるゲソ！

第一部・イクトウス・プロジェクトの理論

人類救済を円滑に進めるためには、イク娘がヒロインの薄い本をつくるべきまでザソ！愚鈍なる大衆諸君を主導する神学理論が不可欠じゃイカ！（もちろん、これは論理的に飛躍したものいいでゲソ。以下の記述がひつききょうは根本仮説にはかならないことを充分に自覚しつつ、あえて一つの思考実験として提示してみるでゲソ。）その一端については、すでに、かむたんによつて示されているゲソ。^①その根幹を要約するなら、「イエス・キリストのみ」という一文にすべてが尽くされているゲソ。近代以降、ヨーロッパを中心に発展した思想哲学の核心には、キリスト教がある、と言われている

① 倉井香茅氏「次世代表現者たちの小魚群を目標して「イクトウス・プロジェクト」『福音と世界』2012年2月号、新教出版社